

福山市多文化共生推進プラン（素案）に対する パブリックコメントの結果概要

福山市市民局まちづくり推進部多様性社会推進課

1 パブリックコメントの結果概要

(1) 公表した案

福山市多文化共生推進プラン（素案）

(2) 実施期間

2024年（令和6年）12月18日（水）～2025年（令和7年）1月17日（金）

(3) 公表場所

市ホームページ、市役所本庁舎（多様性社会推進課・市政情報室）、各支所、各分所、
各分室及び中部地域振興課

(4) 結果

ア 提出数 5通（個人5通、団体0通）

（持参2件、電子メール3件、ファクシミリ0件、郵送0件）

イ 意見件数 21件

- | | |
|---------------|-----|
| ・意見を反映したもの | 16件 |
| ・考え方を説明するもの | 1件 |
| ・今後の参考意見とするもの | 4件 |

2 意見の内容と考え方

(1) 意見を反映したもの(16件)

No.	該当箇所	意見の要旨	考え方
1	P7 用語の定義「外国人住民」とは	このページ以降で、明らかに「外国籍住民」に限られる部分もあり、定義が揺れているように思う。	人口統計データにおける「日本国籍を有さず、中長期在留者及び特別永住者の在留外国人」については、「外国人」と表記し、「外国人住民」の定義に沿わない箇所については修正します。なお、P12の注釈を削除します。
2	P13「国籍・地域別の推移」	折れ線グラフにミャンマーが入っていないが、入れた方が増加を感じることができると思う。	法務省の在留外国人統計表「市区町村別国籍・地域別在留外国人」において、ミャンマーの数値は2023年6月からの公表となっており、推移を確認することができないため、グラフには記載していません。そうした点を踏まえ、注釈を追記します。
3	P20 在留資格区分の内訳	「特定技能」の内訳は「特定技能1号」、「特定技能2号」ではないか。全ての在留資格を入れるのであれば、「高度専門職2号二」や「外交」「公用」についても「その他」に入るように思う。	「特定技能」の内訳及び「高度専門職2号二」については、ご意見のとおり修正します。なお、「外交」や「公用」については住民基本台帳制度において登録対象外であるため、記載していません。
4	P29 施策体系2-3「アウトリーチ」	③ アウトリーチという言葉は、まだ定着した言葉になっていないと思う。「さまざまな形で、必要な人に必要なサービスと情報を届ける」などの説明が、P29の「施策の方向性」にあると分かりやすくなると思う。	ご意見のとおり、「アウトリーチ」について注釈を追記します。
5	P34 1-1日本語学習機会の充実	外国人住民と日本人住民の相互理解を深めることに加えて、「さまざまな言語と文化を持った外国人住民同士の交流を促進する」ことも大切であると考え、この点を明記していただきたい。	外国人住民同士の交流も含め、全ての住民同士の交流促進が必要であると考えています。ご意見を踏まえ、P34の1-1-1「地域日本語教室の充実」及びP26の「めざす姿」を修正します。

No.	該当箇所	意見の要旨	考え方
6	P35 コラム「地域日本語教室ってどんなところ？」	地域日本語教室を「外国人が日本語を学ぶ場所」と定義づけたような表現になっているため、多文化共生のまちづくりの観点からの表現で再検討いただきたい。	地域日本語教室は、地域とのつながりを持つ居場所としての役割が大きいと認識しています。 外国人住民のみならず、日本人住民にとっても、共に暮らす外国人住民と知り合い、相互理解を深めることのできる重要な場所であるため、ご意見を踏まえ修正します。
7	P35 コラム写真のキャプション	キャプションを「⑫日本語サロン」としてはどうか。	地域日本語教室によって雰囲気や特徴は異なるため、ご意見を踏まえて修正します。
8	P35 QRコード見出し	「地域日本語教室のご案内」としてはどうか。	「日本語教室」とすると地域日本語教室以外の教室も含むこととなり、誤解が生じる可能性があるので、ご意見のとおり修正します。
9	P43 コラム「子育て支援通訳ボランティア」	他市町にもある制度だと誤認されるため、「福山市子育て支援通訳ボランティア」または本文に「本市」が主体と分かる表現にしてはどうか。	ご意見のとおり、「福山市子育て支援通訳ボランティア」と修正します。
10	P44 2-6-1「災害時及び災害発生後の対応の充実」	主な連携先に、「関係団体」もしくは「関係機関」を入れてはどうか。	ご意見のとおり、「関係団体」を追記します。
11	P47、48 主な連携先	「福山商工会議所」と記載があるが、合併町が所属する各商工会（福山北・福山あしな・神辺町・沼隈内海）もあるため追記した方がよいのではないかと。	ご意見を踏まえ、「産業支援機関」に修正します。
12	P49 コラム「イベント等に参加して、交流しませんか？」	主体は「ふくやま国際交流協会」ではないかと。	ご意見のとおり修正します。

No.	該当箇所	意見の要旨	考え方
13	P49 3-3-3「外国人コミュニティとの連携や協働の推進」	主な連携先に、「広島県」を入れてはどうか。県ではキーパーソンの登録を行っている。	ご意見のとおり、「広島県」を追記します
14	P53 「住民」3行目 P54 「地域コミュニティ」1行目	「地域住民の一員として」を「地域コミュニティの一員として」にしてはどうか。	ご意見のとおり修正します。
15	P77 【行政に求めること】1行目	「何が重要で」の部分は、「どの部分が重要で」もしくは「どこが重要で」に修正してはどうか。	ご意見のとおり修正します。
16	P78 「⑤生活に関する困りごと」1行目	「賃貸物件への入居が断られるケースがある」の部分は、不動産業者が原因だと受け止められやすいが、不動産所有者が断るケースが多いと聞いている。	企業等へのヒアリングで貸主から入居を断られる事例があると聞いています。ご意見を踏まえ、修正します。

(2) 考え方を説明するもの(1件)

No.	該当箇所	意見の要旨	考え方
1	P53 「教育機関」4行目	「提言を行うなど、」ではなく「提言を行ったり、」ではないか。今の表現だと、教育機関の役割が「人材育成」のみとなるように思う。	教育機関には、調査研究や課題分析、提言等を通じて、地域貢献や人材育成が期待されることを示しています。

(3) 今後の参考意見とするもの(4件)

No.	意見の要旨
1	駅家西交流館での日本語教室再開を希望する。日本語教室は、生活言語の学習と近隣住民との交流を図ることができる場所だと思う。
2	市内の地域日本語教室は12か所以外にも独自で開催されている教室もある。今後はそれら教室とも連携し、つながりを深めてほしい。また、徒歩や自転車で移動できる範囲に、交流し集える地域日本語教室の新規開設を期待する。
3	外国人児童・生徒に対する日本語指導の教諭及び非常勤講師の労働条件の改善と、日本語指導が十分に行えるよう指導時間数を増やしてほしい。
4	外国籍のこどもの中には、日本語が上達する一方で、母語が話せなくなり、日本語の習得が十分でない親とのコミュニケーションがうまく取れないといった問題がある。母国語教育の視点も必要ではないか。